

平成 19 年 6 月 26 日		於：岐阜商工会議所内経済記者クラブ
担当部	担当者	電話番号
情報支援部	主任研究員 若林浩一	058-277-1085

「岐阜県の景況調査(2007年 第2四半期)」について

概況：原材料高により採算性が小幅ながら悪化し、景況感
は低下した。

今回の調査結果の特徴

「景況感」は原材料高により採算性が悪化したことを主な要因として二期連続で悪化した。前回調査においても、先行き不透明感から弱含みの見通しがされていたが、今回の調査によりそれを裏付ける結果となった。

業種別に見ると製造業については、「受注量DI」が三期連続で低下、「設備投資DI」も意欲・実施ともに三期連続で低下するなど前回同様、先行きへの不安を漂わせる結果となった。また、非製造業については、「売上高DI」、「生産量DI」が二期連続で低下するなど、一層厳しさが感じられる結果となった。

来期については、「生産量DI」、「受注量DI」の改善が見込まれるため、「景況DI」は若干改善の見込みである。

DI別の状況

景況DIは、8.0ポイント低下し 31.7となり、二期連続低下した。製造業では、「金属製品」「紙・パルプ・印刷」「化学・プラスチック」「食品」は上昇し、「機械」「繊維・衣服」等は低下した。非製造業では、「サービス(余暇関連)」が上昇したものの、「建設」、「運輸・通信」等が低下した。

売上高DIは非製造業を中心に低下した。製造業では、「食品」「紙・パルプ・印刷」「金属製品」等は上昇したものの、「機械」「化学・プラスチック」は低下した。非製造業は「建

(財)岐阜県産業経済振興センター

設」を中心にすべての業種で低下した。

生産量D Iは三期連続で低下した。「木材・家具」「窯業土石」「紙・パルプ・印刷」等は上昇したが、「化学・プラスチック」「繊維・衣服」等は低下した。

受注量D Iは二期連続で低下した。製造業では「繊維・衣服」「紙・パルプ・印刷」「機械」等が低下し、非製造業では「建設」「サービス(余暇関連)」等すべての業種で低下した。

在庫量D Iは二期連続で低下した。製造業では「金属製品」を除くすべての業種で低下し、非製造業では「建設」「卸売」「飲食店」が上昇し、「小売」は低下した。

販売価格D Iは製造業、非製造業ともに上昇した。製造業では「化学・プラスチック」「金属製品」等が上昇し、非製造業では「運輸・通信」「卸売」「小売」が上昇した。

原材料仕入価格D Iは上昇した。製造業では、「食品」「化学・プラスチック」が20ポイント以上の大幅な上昇となった。非製造業では、「運輸・通信」「小売」が20ポイント以上の大幅な上昇となった。

採算D Iは三期ぶりに低下した。製造業では、「紙・パルプ・印刷」を除くすべての業種で低下した。非製造業では、「サービス(余暇関連)」を除くすべての業種で低下した。

資金繰りD Iは改善した。「窯業・土石」「金属製品」「卸売」が大幅に改善した。

借入れ難易感D Iは二期連続悪化し、「繊維・衣服」「化学・プラスチック」「建設」等が低下した。

設備投資では実施D I及び意欲D I共に二期連続低下した。実施目的は製造業が『売上能力拡大・売上増』、非製造業が『補修・更新』が第1位となった。

設備投資意欲D Iでは「繊維・衣服」「窯業・土石」「飲食店」が大幅に低下した。

雇用D Iにおいては、十四期連続で「不足」超過となり、「不足感」が依然として強い。